

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

# あの手この手

6月号  
2018

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第131号 2018年6月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行



ペテルギウス玄関 5/30 の生け花



くやまと国際アートフェスタ>作品シリーズその3

アトリエ みち賞

「にじをとどける色クジラとその仲間たち」  
緑野小学校 5年 西田和輝さん

ぼくはこの絵に、世界のすべての人が協力して、にじのように  
すてきな世界になってほしいという願いをこめました。

## 市民活動センターからのお知らせ

### その1

4月1日より、市民活動センターは「市民活動拠点  
ペテルギウス」にて業務を開始しています。  
ペテルギウス移転後も市民活動センターをご利用に  
なる団体は、新規登録用紙による再登録が必要に  
なります。新規登録用紙はセンターに置いていま  
すが、市民活動センターのホームページからもダウ  
ンロードできます。お手続きをお願いいたします。

### その2

部室利用団体には、「あの手この手」などセンター発  
のお知らせは、レターケースを利用しますので、  
ご承知ください。

## 平成30年度協働事業提案プレゼンテーション開催

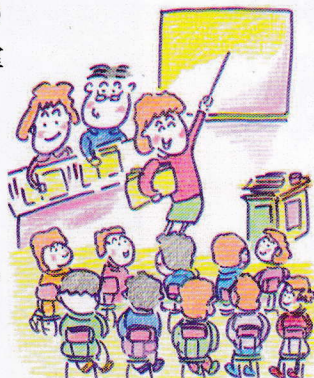
平成30年度の協働事業提案した団体の活動内容の  
プレゼンテーションを開催します。

日時:6月30日(土)10:00~12:45(予定)

会場:保健福祉センター 5F 501 会議室

これから協働事業を考えている  
団体の方は、活動、提案の参考  
になると思いますので、参加され  
ることをお勧めします。

\*協働事業とは、市民や市民活動団体、  
事業者及び市がお互いの提案に基づ  
いて協力して実施する社会に貢献す  
る事業のことです。



## NPO法人 ワーカーズ・コレクティブケアびーくる

設立 21 年目を迎えた「ケアびーくる」は、市民活動センターと同じく協働事業 14 年目の活動に入りました。移動に制約のある方たち、一人ひとりに寄り添ったサービスを実施してきた自信が伝わってくる活動報告でした。

続いて決算報告、事業計画、事業予算、役員承認があり、総会は終了となりました。

特筆すべきことは、つきみ野に本社がある「セルスター工業(株)」より、ドライレコーダー4台が寄贈されたということ。社長の家族が「ケアびーくる」で介護を含めたサービスを受けていたことがきっかけとのこと。運転者の安心を後押しする素敵なプレゼントになり、企業の社会貢献を実感しました。また、後方ステッカーは「あおり運転防止」につながると、運転者の安心感につながっているとのこと。

その後の内部研修では、運転者が「注意すべき交差点」を、それぞれが写真に撮ってきて、情報の共有を図っていました。時間帯による進入禁止地点や危険個所の確認、違反キップを切られやすい場所など、有効な情報交換になっていました。また、JAF のHPからの「事故回避トレーニング」の映像も観て、安全運転に心がける研修は実行性のあるものでした。



左が牧野康子さん

## 今年も青い鯉のぼりプロジェクトに参加してきました

「みなちかやまと」  
牧野 康子さん

今年の5月5日の土曜日、宮城県東松島市の大曲浜は雨が上がり、風が強く吹いていましたが、青空が少しずつ見え気持ちよい朝になりました。

青い鯉のぼりプロジェクトは「みなちかやまと」の事業の一つで、震災を乗り越え、力強く歩き出している方々の地域の絆を学ばせていただこうと、震災後2年目から毎年参加させていただいており、今年で5回目の参加です。

東日本大震災で被災した東松島市で、当時高校2年生だった青年の家族の命が奪われ、その中に当時5歳の弟もいました。震災から数日経って、瓦礫だらけの自宅の庭から一匹の青い鯉のぼりを見つけ、亡くなった弟が大好きだった鯉のぼりを「いつまでも忘れない」という想いで掲げたのが始まりです。東日本大震災で亡くなった子ども達が寂しくないようにと、地域の人たちが鯉のぼりを掲げるようになり、東松島市の街や人々の復興のシンボルとして、鎮魂の意味をも込めて掲揚するイベントに育っていったのです。

## NPO法人 WE21ジャパン大和

2017年度の活動として、民衆支援事業（アジアの人々の生活向上と自立のための活動支援）、資源のリユース・リサイクルを推進する事業、活動と理解を広げるための広報活動が報告されました。

国際活動の中には他のNPOと連携の福島スタディツアーを実施。また、店舗のバックヤードのリニューアルに加え7人の新しいボランティアを迎えたことによりショップ活動が円滑に出来るようになったとのこと。

助成報告、決算報告、事業計画、活動予算が承認され総会は閉会しました。

その後のWE講座「フェアトレード」のワークショップでは2つのグループに分かれてチョコレート（フェアトレード商品と一般の商品）を試食。

ラベルや原材料、香りや味、食感の違いを比べて感想を述べ合いながらフェアトレードについて考えるという試みで、とても有意義なものでした。レクチャーに留まらず思いをシェアして学ぶワークショップにWE21ジャパン大和の活動の要を実感しました。(辺見)

2012年からは仮設住宅に暮らす元住民のお年寄りなどに呼びかけ、一人ではなかなか足を運べなかった故郷の地で、全国から集まったボランティアと共に鯉のぼりの取り付け作業や吹き出しを行い、腰を下ろし、みんなで語らう「青い鯉のぼりの下に腰を下ろす会」も開催され、5月5日の子供の日には鎮魂の和太鼓の演奏なども行なわれるプロジェクトになりました。

「みなちかやまと」では毎年、用意した鯉のぼりに皆さんからメッセージを書いていただき、直接、鯉のぼりを届け、掲げさせていただいています。

宮城県全体的では、道路や家並みなどは毎年少しずつきれいに整備されてきていると思います。しかし手の届かないところも沢山あり、今回立ち寄った石巻のあるところでは、昨年やっと倒壊家屋がすべて撤去され道路工事が始まりました。しかし一部途中で途絶えている道路などをみると、まだまだ胸が痛くなります。

その復興の最中の平野に何百もの鯉のぼりが揚がり、風が強くとパタパタと泳ぐ鯉のぼりと風の音が調和し、遺族の鎮魂の想いが私の心を強く打ちました。お預かりした皆さんのメッセージ入りの鯉のぼりも無事に掲げることができました。



全国から寄せられた青い鯉のぼりが空を舞う

「センター」のある日ある時

5月14日(月) 晴れ

再登録の手続きに来館された「大和市肢体不自由児者父母の会」の丸山さんに、やっとチューリップのお礼を言うことができました。いつも、季節毎に花を植えて下さっていた方です。

旧センター最後の日にきれいに咲いていたチューリップのことは、4月号のP.1の右肩で紹介しましたが、直接お礼を伝えなかったのが、ほっとしました。ありがとうございました。

医療的ケアが必要なお子さんが増えているが、現実には対応できる人が足りないとか。まずは、知ることから始めたいと思いました。

## ボランティアの現場から

### 高校生が日常のボランティア活動

柏木学園高校の生徒は、晃風園・ハッピー鶴間・季の家のデイサービスや引地川の清掃活動など、日常的にボランティア活動を行っています。

小規模多機能型「ゆらり大和」で開催されたゆらり大和祭りに柏木学園高校生 8 名がボランティア活動に参加しました。

終了後に盛屋希美さん（2 年生）が、市民活動センターにその日の活動報告を寄せてくれました。（櫻井貞代）

今年はハヤシライス、フランクフルトやケーキ、当てくじなど去年に増してさらにグレードアップしていました。女子が食べ物を担当し、男子が遊びの方を担当しました。今日は風が強かったので物が飛ばされたりと色々大変でしたが、デイサービス皆スタッフの方々と話したり利用者の方や地域の方と沢山触れ合うことが出来たので来年も参加しようと思いました。

### 中高生夏休みボランティア体験「このゆびとまれっ！」受け入れ団体

子育て支援サポーター

・ NPO 法人地域家族しんちゃんハウス

環境保全サポーター

・ 引地川水とみどりの会

障がい者支援サポーター

・ サウンドテーブルテニスクラブ

国際交流支援サポーター

・ WE21 ジャパン大和

・ やまと国際フレンドクラブ (IFC)

芸術文化支援サポーター

・ 大和市芸術文化振興会

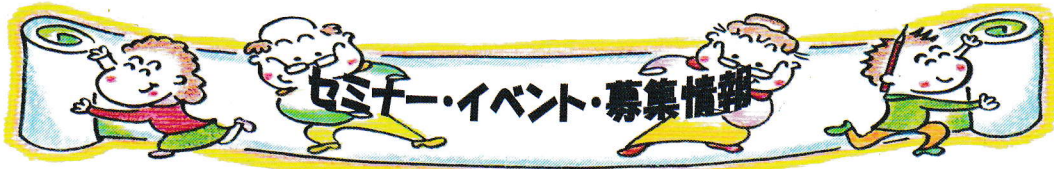
高齢者支援サポーター

・ ハッピー鶴間

・ げ・ん・き

・ ゆらり大和

・ 季の家



### 社会福祉法人県央福祉会「公開講座」

NPO 法人シーガル研修・研究機構(受託研修)

#### 「息子よ。そのまま、いい。」

～共生社会で生涯があるがままに生きる理想と現実～

“障がい者や社会的に弱い立場の人々を包む社会”について、障がいを持つ子の親、そして報道記者としての体験などを持つ神戸さんからあるがままにお聞きし、共生社会の取組の大切さについて考えてみませんか。

講師：神戸 金史先生 (RKB 毎日放送 東京報道部長)

日時：6月27日(水) 19:00～20:45

(18:45 開場)

場所：シリウス・メインホール

参加費：無料

対象：社会福祉従事者、教職員、保護者（お子さん同伴可）、一般市民どなたでも参加できます。

申し込み：FAX: 046-240-1962

e-mail: [takashi.ishimitsu@stro.or.jp](mailto:takashi.ishimitsu@stro.or.jp)

申し込み締め切り：6月25日(月)

### 「自分で考える戦争、平和、憲法」

9 条改憲が話題の今、さまざまな知識と経験をもつ柳澤協二さんにお話を伺います。

日時：7月7日(土)

13:30 開場 14:00 歌と踊り、14:50 講演

場所：大和市保健福祉センター ホール

参加費：前売り 800 円、当日 1000 円（学生 500 円）

講師：柳澤 協二氏

1970 年、防衛庁に入庁、2002 年、同庁長官官房長、同庁防衛研究所所長、2004 年から 2009 年まで小泉・福田・第 1 次安倍・麻生 4 内閣の下で内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）を務めた。2011 年、NPO 法人国際地政学研究所理事長。新外交イニシアティブ理事。自衛隊を活かす 21 世紀の憲法と防衛を考える会代表。

歌と踊り：制服向上委員会 (SK I)

高校生らが憲法の大切さを歌と踊りで表現しているアイドルグループ。

### 発達障がい児地域支援 コーディネーター養成講座

#### ～困難を抱えた子どもたちの理解と支援～

発達障がい児を支援する方で、子どもたちのニーズに対応する力を身に付けたい方のための講座です。

日時：6月28日(木)、7月4日(水)、19日(木)

9:30～12:30 全 4 回

会場：かながわコミュニティカレッジ講習室

(かながわ県民センター11 階)

受講料：6,000 円

定員：40 名

申込締切：6月14日(木)

かながわコミュニティカレッジ事務局

TEL: 045-620-0743

FAX: 045-620-0745

「センター」のある日ある時

5月22日(火) 晴れ

拠点やまと会議中に、20日に松下沙織さんがエベレスト登頂に成功したと、お姉さんからうれしい電話。登山家の栗城史多さんがエベレスト下山中に亡くなった、というニュースを前夜のテレビで知り、心配していたので、みんなで拍手して喜んだ。

8,000m 級3座連続登攀の一番目のエベレストに成功。次の 8,516m のローツェに連続登頂した後は、パキスタンに移動して 8,611m の K2 または 8,047m のブロードピークを踏破する 8,000 m3 座連続登頂に挑戦するという。是非、成功して日本人女性初の快挙を共に喜び合いたいと思っている。



＜出演しました＞ 録音 CD が大和市民活動センターにあります。

第 318 回 5/1 「みなちかやまと」

自分と同じに感じられる居場所「夜のじどうかん (自同感)」を 4 月 16 日にオープン。子ども、子育て中の親、シルバーなど世代を超えて集える場です。忙しさの中で一息つきたい時、息抜きや弱音を吐きたくなった時など、誰かに話したいと思う人の心がすっきりする為のお手伝いをします。中高生が集中してなにかに取り組んだり、小学生が宿題をする場所として利用してほしいです。

毎週月曜日と金曜日の 18:30 から 22:00 まで開いています。登録制で参加できるのは小学生以上、未成年者には保護者の承諾が必要になります。

もうひとつの活動として東日本大震災で被災した子どもたちの慰霊と復興の願いを込め、毎年 5 月 5 日に宮城県東松島市で開催されている「青い鯉のぼりプロジェクト」に参加しているとのこと。今年も大勢の人のメッセージが書き込まれた鯉のぼりを持って行きます。

第 319 回 5/15 「神奈川年金協会  
大和分会」

昭和 46 年に発足した「厚生年金友の会」を経て昭和 63 年「神奈川年金協会大和分会」が設立。活動は年 2 回の旅行会、2 か月に 1~2 回の歩こう会、年 3 回のグラウンドゴルフ大会、月 2 回のゲートボール仲間、月 1 回のボーリングというように多彩な活動が展開されています。入会してみると自分に合った活動を選ぶことができ、仲間も増えることで交流が深まるとのこと。歩こう会では以前はバス旅行やバーベキュー大会をしていたそうですが、現在は「歩くこと」を中心に活動していて 6 月には小山田緑地、7 月は境川遊水池、8 月は大和野鳥の森が予定されています。

いずれもメンバーが現地を下見してからの開催という丁寧な準備がされています。「年齢に関係なく多くの仲間を作り明るい毎日を過ごしましょう」と呼びかけました。

第 320 回 5/29 「タムタムランニング  
クラブ」

レッスンのメインは走るのですが、「タムタムランニングクラブ」の名前(「タムタム」とはスワヒリ語で「楽しい」という意味の通り、楽しいという思いが一番大切だと佐藤さんは語っています。走ることで得る達成感や挑戦することへの恐怖心も含んでのこと、とのこと。

「走る」という行為は何事においても基本になるということで、ただ走るだけでなく心育てることに重きを置いて、心のサポートや身体づくりの為の食育講座も開いています。走ることが好きな方、タイムアップを目指す方、走ることが苦手だったがそれを少しでも克服したい方等、どんな方にも幅広く対応し小さな成功体験を経験し、続ける機会が大切という思いから、その空間作りを務めていることが伝わりました。

＜7 月の出演団体＞ 77.7MHz 9:00 お忘れなく！(再放送は当日の 15:00 と 21:00 です)

6/5(火)「NPO 法人フィット・フォー・マザー・ジャパン」

妊娠期、育児期の女性のヘルスリテラシーを運動(身体活動)を通して向上させ、女性の生涯を通しての健康、子どもたちの未来、家族の健康につなげることを目指す活動をしています。

6/19(火)「ママスク大和」

子育て中のママが孤立しないよう、地域のママが誰でも参加できる場を提供する活動をしています。

★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた★やまとっこ☆みつた

スタッフの  
つぶやき



ペテルギウスに移って  
2 か月がたったね。



拠点やまと会長  
望月 則男

「木苺」色からして“黄いちご”だと思っていました。“オナガ”が仲間を連れて空中で羽ばたきながら食べて行きます。木の上の方では、その実をクチバシで渡しています。きっと雛鳥?もう親の大きさ“甘えん坊”の新米鳥でしょう♪



市民活動相談担当  
関根 孝子

郷津雅夫の「窓」の写真展を観た。ニューヨークの下町で、窓から外を見る人々の目には何が映っているのか。絶望!?涙が出そうになった。パリで観た写真、窓から外を覗き込む少女達の後ろ姿には希望が見えたのに…



ボランティア担当  
櫻井 貞代

友達との約束の場所に出掛けるバスの中でスマホに「雷雲注意報 藤沢近辺雨雲発生」と事細かに予報が入る。気にしないと思いつつ一喜一憂している。友から「雷雨いけど、どうする」とメールが入る。



ニュースレター担当  
櫻井 美紀子

数年前、何を思ったか家人が、直径が 40 cm 位ある地球儀を購入した。案の定邪魔になり 2 階の隅に置いてあったが、最近階下においている。身近にあればくるくる回す。いつか行ってみたいなと思う所がたくさん!



FM やまと担当  
辺見 弥生

近所にツバメが巣を作り、通る度に見上げています。ヒナの嘴の中が黄色いのはその色で親鳥の餌やり本能を刺激する為とか。そう聞くと大きく口を開くヒナ達の姿が健気に思えて、ますます愛しく思えてきます。



HP 担当  
吉浜 学

最近では週 1 回 10km をジョギングしていましたが、体力が少しずつ付いてきたので、週 3 回 5km に切り替えて走っています。ロードバイクでは「太股」を鍛え、ジョギングでは「ふくらはぎ」を鍛えています。



「あの手この手」担当  
石川 美恵子

NPO 法人の総会に出席するたびに、どの団体も内容の濃い活動をしていると感心。継続するための努力はどれほどのものか、想像するだけで尊敬の念を覚える。市民活動が多様で活発になる社会が豊かな社会なのか、自問自答。

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第 131 号 発行日: 2018 年 6 月 10 日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788

<休館日 12 月 29 日~1 月 3 日・毎月第 3 月曜日>

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

http://www.kyodounokyoten.com/